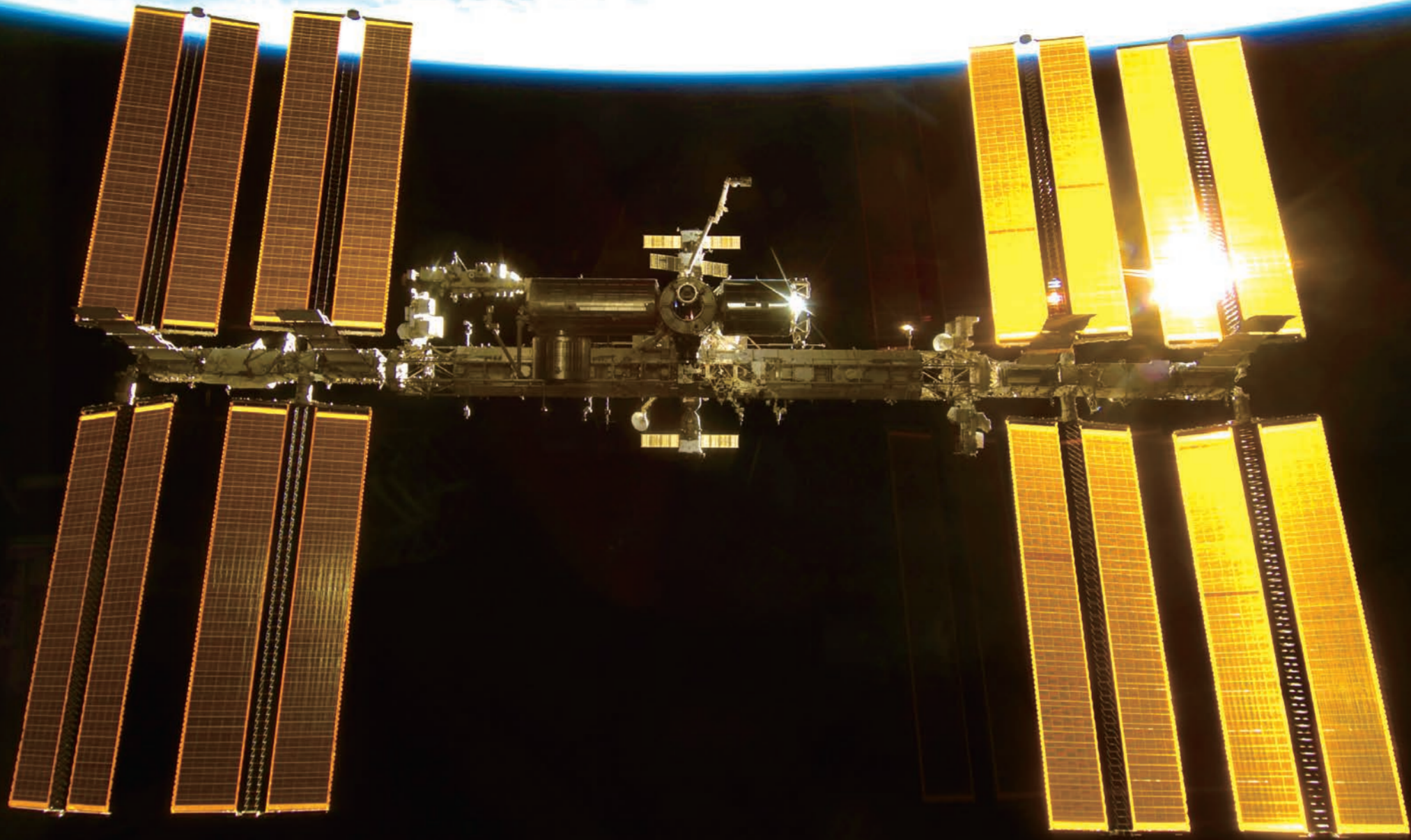




室蘭工業大学 第19回蘭岳セミナー



© JAXA/NASA

人類は宇宙へ

我が国の有人宇宙活動

今年には1957年にソビエト連邦が人類初の人工衛星スプートニクを打ち上げてちょうど60年を迎えます。また、その3年後の1961年にガガーリンが初めての宇宙飛行を行い、それから、いくつかの宇宙計画の中、多くの宇宙飛行士により人類の活動が宇宙にまで広がっております。我が国もスペースシャトルなどによる宇宙飛行から始まり、現在では、世界の宇宙先進国15か国が協力している国際宇宙ステーション計画の中で、大変重要な役割を果たし、日本の宇宙飛行士も活躍しております。日本の有人宇宙活動の現状と展望についてお話しをさせていただきます。

参加費無料

日時

2017年5月19日(金)
17:00~18:30

場所

室蘭工業大学 A304 講義室

対象

本学学生・教職員・一般市民

事前の参加申し込みは必要ありません。

講師 Profile ~

国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構
有人宇宙技術部門

宇宙飛行士・運用管制ユニット長

かみ が いち しげ き
上垣内 茂樹 氏

1957年、広島県生まれ、東京大学工学部船用機械工学科卒業後、同大学院修士課程修了。1982年、宇宙開発事業団(現在のJAXA)入社。3年間ほど、ロケットエンジンや人工衛星の姿勢制御装置の開発等を担当。その後、日本初の宇宙飛行士となる毛利、向井、土井宇宙飛行士の訓練やスペースシャトル宇宙実験における地上実験管制所で管制官や、日米欧露加の15か国が参加している国際宇宙ステーションを利用した実験のとりまとめを行った。その後、広報部長等を経て、2016年4月より、現職に就き、宇宙飛行士、および、その訓練、健康管理、また、宇宙医学研究、地上運用管制の取りまとめを行っている。



主催 国立大学法人室蘭工業大学

問い合わせ先 室蘭工業大学総務広報課研究協力室 TEL (0143) 46-5021